

平成 30 年度 病院事業決算状況

都道府県名 岐阜県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ	東白川村	国保病院	20
-	岐阜県総合医療センター	2			
-	多治見病院	3			
-	下呂温泉病院	4			
岐阜市	岐阜市民病院	5			
大垣市	大垣市民病院	6			
多治見市	多治見市民病院	7			
中津川市	総合病院 中津川市民病院	8			
中津川市	国民健康保険 坂下病院	9			
美濃市	美濃病院	10			
羽島市	羽島市民病院	11			
恵那市	市立恵那病院	12			
恵那市	国民健康保険上矢作病院	13			
土岐市	土岐市立総合病院・駄知診療所	14			
飛騨市	国民健康保険飛騨市民病院	15			
郡上市	郡上市民病院	16			
郡上市	県北西部地域医療センター国保白鳥病院	17			
下呂市	下呂市立金山病院	18			
関ヶ原町	国保関ヶ原病院	19			

病院事業決算状況 (30 年度)		都道府県名	岐阜県
		市町村・組合名	
		病院名	岐阜県総合医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	2,031,903	
決算規模（千円）	757,176,165	
標準財政規模（千円）	472,985,433	
財政力指数	0.54901	
経常収支比率（%）	93.0	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.2
	将来負担比率（%）	206.1

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	166,857			
1 経常収益	166,857			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	166,857			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	166,857			
2 経常費用	166,857			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	49.8
材料費	-	-	24.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.8
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.3	11.4
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	166,857			
(うち支払利息)	166,857	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	9,696,485			
経常収支比率	100.0		98.2	99.5
医業収支比率	-		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	90.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	岐阜県
		市町村・組合名	
		病院名	多治見病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,031,903	
決算規模(千円)	757,176,165	
標準財政規模(千円)	472,985,433	
財政力指数	0.54901	
経常収支比率(%)	93.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	206.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	55,738			
1 経常収益	55,738			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	55,738			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	55,738			
2 経常費用	55,738			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	49.8
材料費	-	-	24.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.8
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.3	11.4
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	55,738			
(うち支払利息)	55,738	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	2,071,196			
経常収支比率	100.0		98.2	99.5
医業収支比率	-		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	90.4

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)		都道府県名	岐阜県
		市町村・組合名	
		病院名	下呂温泉病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	2,031,903	
決算規模（千円）	757,176,165	
標準財政規模（千円）	472,985,433	
財政力指数	0.54901	
経常収支比率（%）	93.0	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.2
	将来負担比率（%）	206.1

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,922			
1 経常収益	20,922			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	20,922			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,922			
2 経常費用	20,922			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	59.3
材料費	-	-	24.1	19.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	-	-	9.2	10.3
経費	-	-	23.2	27.6
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	20,922			
(うち支払利息)	20,922	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	398,085			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	83.4

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)	都道府県名	岐阜県
	市町村・組合名	岐阜市
	病院名	岐阜市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	56,541 m ²	指定病院の状況	救臨が 災地 輪
診療科数	29	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一般	559	77.9	78.8	83.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	70.4	81.0	81.3
感染症	-	-	-	-
計	609	77.2	79.0	82.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	11.7	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	406,735	
決算規模(千円)	154,084,448	
標準財政規模(千円)	83,510,824	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	93.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.7
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.1
修正医業収支金額(千円)	17,121,355

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,307,843			
1 経常収益	19,307,843			
(1) 医業収益	17,456,827			
入院収益	11,416,436			
外来収益	5,318,423			
診療収入計	16,734,859			
その他医業収益	721,968			
(うち他会計負担金)	335,472			
(2) 医業外収益	1,851,016			
(うち国・都道府県補助金)	36,215			
(うち他会計補助・負担金)	640,255			
(うち長期前受金戻入)	844,417			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,037,216			
2 経常費用	20,037,216			
(1) 医業費用	18,999,591			
職員給与費	9,246,768	53.0	56.0	49.8
材料費	5,108,604	29.3	24.1	28.0
(うち薬品費)	3,366,357	19.3	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,727,922	9.9	11.1	12.8
減価償却費	1,549,098	8.9	9.2	8.3
経費	2,979,059	17.1	23.2	20.7
(うち委託料)	1,787,407	10.2	11.3	11.4
研究研修費	94,188			
資産減耗費	21,874			
(2) 医業外費用	1,037,625			
(うち支払利息)	159,957	0.9	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-729,373			
純損益	-729,373			
累積欠損金	905,482			
経常収支比率	96.4		98.2	99.5
医業収支比率	91.9		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	5.1		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	5.6		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	5.1		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	91.5		86.0	90.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,497,488
1 固定資産	16,809,372
(1) 有形固定資産	16,302,804
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	506,568
2 流動資産	7,688,116
(1) 現金及び預金	4,682,439
(2) 未収金及び未収収益	2,938,658
(3) 貸倒引当金()	17,544
(4) 貯蔵品	84,563
3 繰延資産	-
負債合計	20,454,879
1 固定負債	12,781,355
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,352,230
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,429,125
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,240,356
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,034,249
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	545,713
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,642,108
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,433,168
(1) 長期前受金	12,169,727
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,736,559
資本合計	4,042,609
1 資本金	4,495,443
2 剰余金	-452,834
(1) 資本剰余金	7,200
(2) 利益剰余金	-460,034
負債・資本合計	24,497,488
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	975,727	975,727
資本勘定繰入	1,204,290	1,204,290
計	2,180,017	2,180,017

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年度	-	-
29 年度	-	-
28 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	岐阜県
				市町村・組合名	大垣市
				病院名	大垣市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	79,046 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地		
診療科数	28	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	857	72.1	72.1	75.6
療養	-	-	-	-
結核	40	11.6	10.8	16.3
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	903	69.0	68.9	72.5
平均在院日数（一般病床のみ）		11.3	11.3	11.8

設立団体の状況		
人口（人）	159,879	
決算規模（千円）	59,148,705	
標準財政規模（千円）	35,243,702	
財政力指数	0.89	
経常収支比率（%）	87.5	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	0.8
	将来負担比率（%）	10.3

損益計算書（千円・%）					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	33,691,815				
1 経常収益	33,691,012				
(1) 医業収益	33,138,716				
入院収益	19,127,941				
外来収益	13,531,222				
診療収入計	32,659,163				
その他医業収益	479,553				
(うち他会計負担金)	-				
(2) 医業外収益	552,296				
(うち国・都道府県補助金)	105,484				
(うち他会計補助・負担金)	182,229				
(うち長期前受金戻入)	47,172				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	803				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	32,830,114				
2 経常費用	32,570,009				
(1) 医業費用	30,966,471				
職員給与費	12,959,240	39.1	56.0	49.8	
材料費	12,520,308	37.8	24.1	28.0	
(うち薬品費)	8,376,505	25.3	12.6	14.8	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,969,080	12.0	11.1	12.8	
減価償却費	1,424,714	4.3	9.2	8.3	
経費	3,853,632	11.6	23.2	20.7	
(うち委託料)	2,085,196	6.3	11.3	11.4	
研究研修費	97,476				
資産減耗費	111,101				
(2) 医業外費用	1,603,538				
(うち支払利息)	102,742	0.3	1.6	1.4	
(3) 特別損失	260,105				
損益					
経常損益	1,121,003				
純損益	861,701				
累積欠損金	-				
経常収支比率	103.4		98.2	99.5	
医業収支比率	107.0		88.3	92.8	
他会計繰入金対経常収益比率	0.5		12.5	9.1	
他会計繰入金対医業収益比率	0.5		14.6	10.3	
他会計繰入金対総収益比率	0.5		12.5	9.0	
実質収益対経常費用比率	102.9		86.0	90.4	

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	52,730,771
1 固定資産	21,236,438
(1) 有形固定資産	19,220,094
(2) 無形固定資産	444
(3) 投資その他の資産	2,015,900
2 流動資産	31,494,333
(1) 現金及び預金	25,540,830
(2) 未収金及び未収収益	5,695,609
(3) 貸倒引当金（ ）	88,357
(4) 貯蔵品	346,251
3 繰延資産	-
負債合計	13,107,147
1 固定負債	8,452,213
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,831,321
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,454,666
(7) リース債務	166,226
2 流動負債	4,185,995
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	242,432
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	805,600
(6) リース債務	50,567
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,079,396
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	468,939
(1) 長期前受金	1,298,580
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	829,641
資本合計	39,623,624
1 資本金	21,842,789
2 剰余金	17,780,835
(1) 資本剰余金	149,109
(2) 利益剰余金	17,631,726
負債・資本合計	52,730,771
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	107.0
修正医業収支金額（千円）	33,138,716

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	409,108	182,229
資本勘定繰入	881,028	152,724
計	1,290,136	334,953

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	岐阜県
	市町村・組合名	多治見市
	病院名	多治見市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	19,779 m ²	指定病院の状況	救臨
診療科数	27	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	250	66.4	61.5	50.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	66.4	61.5	50.6
平均在院日数(一般病床のみ)		15.1	14.9	14.1

設立団体の状況		
人口(人)	110,441	
決算規模(千円)	35,125,931	
標準財政規模(千円)	22,813,364	
財政力指数	0.74	
経常収支比率(%)	86.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-2.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	487,856			
1 経常収益	487,856			
(1) 医業収益	82,790			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	82,790			
(うち他会計負担金)	73,809			
(2) 医業外収益	405,066			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	139,642			
(うち長期前受金戻入)	233,497			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	509,269			
2 経常費用	508,866			
(1) 医業費用	428,831			
職員給与費	-	-	56.0	59.3
材料費	-	-	24.1	19.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	233,506	282.0	9.2	10.3
経費	193,966	234.3	23.2	27.6
(うち委託料)	9,735	11.8	11.3	12.3
研究研修費	-			
資産減耗費	1,359			
(2) 医業外費用	80,035			
(うち支払利息)	57,837	69.9	1.6	1.7
(3) 特別損失	403			
損益				
経常損益	-21,010			
純損益	-21,413			
累積欠損金	1,633,773			
経常収支比率	95.9		98.2	96.7
医業収支比率	19.3		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	43.8		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	257.8		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	43.8		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	53.9		86.0	83.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,448,420
1 固定資産	5,872,772
(1) 有形固定資産	5,715,959
(2) 無形固定資産	2,906
(3) 投資その他の資産	153,907
2 流動資産	575,648
(1) 現金及び預金	574,609
(2) 未収金及び未収収益	1,039
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,952,195
1 固定負債	3,800,774
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,750,982
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	49,792
(7) リース債務	-
2 流動負債	267,109
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	205,930
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	51,179
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	884,312
(1) 長期前受金	2,386,993
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,502,681
資本合計	1,496,225
1 資本金	1,693,432
2 剰余金	-197,207
(1) 資本剰余金	1,436,566
(2) 利益剰余金	-1,633,773
負債・資本合計	6,448,420
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	2.1
修正医業収支金額(千円)	8,981

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	212,301	213,451
資本勘定繰入	94,853	94,853
計	307,154	308,304

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1973.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	岐阜県
				市町村・組合名	中津川市
				病院名	総合病院 中津川市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	25,973 m ²	指定病院の状況	救臨 災 輪		
診療科数	31	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	360	70.5	67.1	65.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	360	70.5	67.1	65.2
平均在院日数（一般病床のみ）		12.5	12.0	11.6

設立団体の状況		
人口（人）	78,883	
決算規模（千円）	37,913,346	
標準財政規模（千円）	23,700,852	
財政力指数	0.50	
経常収支比率（%）	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	10.6
	将来負担比率（%）	6.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	89.6
修正医業収支金額（千円）	6,884,504

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,561,767			
1 経常収益	7,561,767			
（1）医業収益	7,023,481			
入院収益	4,545,574			
外来収益	2,032,114			
診療収入計	6,577,688			
その他医業収益	445,793			
（うち他会計負担金）	138,977			
（2）医業外収益	538,286			
（うち国・都道府県補助金）	3,919			
（うち他会計補助・負担金）	458,513			
（うち長期前受金戻入）	41,510			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	7,982,728			
2 経常費用	7,976,508			
（1）医業費用	7,683,296			
職員給与費	4,263,666	60.7	56.0	57.1
材料費	1,326,297	18.9	24.1	23.9
（うち薬品費）	726,119	10.3	12.6	12.1
（うち薬品費以外の医薬材料費）	600,178	8.5	11.1	11.4
減価償却費	523,263	7.5	9.2	9.5
経費	1,543,186	22.0	23.2	22.0
（うち委託料）	962,532	13.7	11.3	10.8
研究研修費	19,974			
資産減耗費	6,910			
（2）医業外費用	293,212			
（うち支払利息）	38,539	0.5	1.6	1.6
（3）特別損失	6,220			
損益				
経常損益	-414,741			
純損益	-420,961			
累積欠損金	7,452,924			
経常収支比率	94.8		98.2	96.7
医業収支比率	91.4		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	7.9		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	8.5		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	7.9		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	87.3		86.0	85.4

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	12,733,771
1 固定資産	10,330,522
（1）有形固定資産	9,642,503
（2）無形固定資産	1,871
（3）投資その他の資産	686,148
2 流動資産	2,403,249
（1）現金及び預金	973,772
（2）未収金及び未収収益	1,320,558
（3）貸倒引当金（ ）	514
（4）貯蔵品	109,433
3 繰延資産	-
負債合計	9,905,117
1 固定負債	7,356,737
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,614,842
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	1,734,616
（7）リース債務	7,279
2 流動負債	2,040,877
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	773,309
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	418,418
（6）リース債務	8,965
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	797,011
（9）前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	507,503
（1）長期前受金	1,598,166
（2）長期前受金収益化累計額（ ）	1,090,663
資本合計	2,828,654
1 資本金	14,011,729
2 剰余金	-11,183,075
（1）資本金剰余金	36,568
（2）利益剰余金	-11,219,643
負債・資本合計	12,733,771
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	597,490	597,490
資本勘定繰入	357,627	357,627
計	955,117	955,117

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	138.7
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	岐阜県
				市町村・組合名	中津川市
				病院名	国民健康保険 坂下病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	11,190 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	10	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	50	17.4	61.2	54.8
療養	50	60.3	83.1	95.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	38.8	69.4	65.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.8	16.1	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	78,883	
決算規模(千円)	37,913,346	
標準財政規模(千円)	23,700,852	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	6.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,207,662			
1 経常収益	1,935,068			
(1) 医業収益	1,064,248			
入院収益	287,904			
外来収益	682,279			
診療収入計	970,183			
その他医業収益	94,065			
(うち他会計負担金)	8,661			
(2) 医業外収益	870,820			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	378,823			
(うち長期前受金戻入)	19,360			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	272,594			
(うち他会計繰入金)	249,000			
総費用	2,302,903			
2 経常費用	2,294,793			
(1) 医業費用	1,712,998			
職員給与費	792,223	74.4	56.0	61.8
材料費	156,323	14.7	24.1	17.7
(うち薬品費)	86,923	8.2	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	69,400	6.5	11.1	8.2
減価償却費	237,778	22.3	9.2	10.4
経費	510,707	48.0	23.2	29.9
(うち委託料)	329,627	31.0	11.3	12.9
研究研修費	3,879			
資産減耗費	12,088			
(2) 医業外費用	581,795			
(うち支払利息)	58,548	5.5	1.6	1.7
(3) 特別損失	8,110			
損益				
経常損益	-359,725			
純損益	-95,241			
累積欠損金	3,766,719			
経常収支比率	84.3		98.2	96.7
医業収支比率	62.1		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	20.0		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	36.4		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	28.8		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	67.4		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,733,771
1 固定資産	10,330,522
(1) 有形固定資産	9,642,503
(2) 無形固定資産	1,871
(3) 投資その他の資産	686,148
2 流動資産	2,403,249
(1) 現金及び預金	973,772
(2) 未収金及び未収収益	1,320,558
(3) 貸倒引当金()	514
(4) 貯蔵品	109,433
3 繰延資産	-
負債合計	9,905,117
1 固定負債	7,356,737
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,614,842
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,734,616
(7) リース債務	7,279
2 流動負債	2,040,877
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	773,309
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	418,418
(6) リース債務	8,965
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	797,011
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	507,503
(1) 長期前受金	1,598,166
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,090,663
資本合計	2,828,654
1 資本金	14,011,729
2 剰余金	-11,183,075
(1) 資本剰余金	36,568
(2) 利益剰余金	-11,219,643
負債・資本合計	12,733,771
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	61.6
修正医業収支金額(千円)	1,055,587

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	332,069	636,484
資本勘定繰入	242,836	266,170
計	574,905	902,654

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	138.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	岐阜県
	市町村・組合名	美濃市
	病院名	美濃病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	14,289 m ²	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	14	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	122	89.4	88.2	86.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	122	89.4	88.2	86.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.9	13.4	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	20,760	
決算規模(千円)	9,384,064	
標準財政規模(千円)	5,763,498	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	92.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.4
	将来負担比率(%)	27.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,632,360			
1 経常収益	2,632,360			
(1) 医業収益	2,563,735			
入院収益	1,615,987			
外来収益	734,272			
診療収入計	2,350,259			
その他医業収益	213,476			
(うち他会計負担金)	14,632			
(2) 医業外収益	68,625			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	45,932			
(うち長期前受金戻入)	4,586			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,624,902			
2 経常費用	2,623,089			
(1) 医業費用	2,501,631			
職員給与費	1,251,037	48.8	56.0	61.8
材料費	348,700	13.6	24.1	17.7
(うち薬品費)	144,613	5.6	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	204,087	8.0	11.1	8.2
減価償却費	290,128	11.3	9.2	10.4
経費	603,291	23.5	23.2	29.9
(うち委託料)	332,657	13.0	11.3	12.9
研究研修費	5,069			
資産減耗費	3,406			
(2) 医業外費用	121,458			
(うち支払利息)	39,808	1.6	1.6	1.7
(3) 特別損失	1,813			
損益				
経常損益	9,271			
純損益	7,458			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.4		98.2	96.7
医業収支比率	102.5		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	2.3		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	2.4		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	2.3		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	98.0		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,218,452
1 固定資産	4,359,202
(1) 有形固定資産	4,192,835
(2) 無形固定資産	212
(3) 投資その他の資産	166,155
2 流動資産	2,859,250
(1) 現金及び預金	2,476,711
(2) 未収金及び未収収益	374,930
(3) 貸倒引当金()	1,738
(4) 貯蔵品	9,347
3 繰延資産	-
負債合計	3,621,599
1 固定負債	3,061,778
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,061,778
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	457,796
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	223,264
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	70,729
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	163,759
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	102,025
(1) 長期前受金	186,853
(2) 長期前受金収益化累計額()	84,828
資本合計	3,596,853
1 資本金	3,164,867
2 剰余金	431,986
(1) 資本金剰余金	208,459
(2) 利益剰余金	223,527
負債・資本合計	7,218,452
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	101.9
修正医業収支金額(千円)	2,549,103

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	64,478	60,564
資本勘定繰入	211,667	159,680
計	276,145	220,244

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	岐阜県
	市町村・組合名	羽島市
	病院名	羽島市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	26,158 m ²	指定病院の状況	救臨
診療科数	26	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	271	83.0	80.2	78.2
療養	-	-	-	-
結核	10	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	281	80.1	77.3	75.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.2	14.0	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	67,337	
決算規模(千円)	22,112,710	
標準財政規模(千円)	13,322,030	
財政力指数	0.77	
経常収支比率(%)	97.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.5
	将来負担比率(%)	12.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.2
修正医業収支金額(千円)	5,112,462

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,050,744			
1 経常収益	5,900,236			
(1) 医業収益	5,297,394			
入院収益	3,460,781			
外来収益	1,498,577			
診療収入計	4,959,358			
その他医業収益	338,036			
(うち他会計負担金)	184,932			
(2) 医業外収益	602,842			
(うち国・都道府県補助金)	8,149			
(うち他会計補助・負担金)	538,866			
(うち長期前受金戻入)	24,193			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	150,508			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,915,931			
2 経常費用	5,871,488			
(1) 医業費用	5,667,176			
職員給与費	3,200,563	60.4	56.0	59.3
材料費	911,219	17.2	24.1	19.3
(うち薬品費)	509,826	9.6	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	393,706	7.4	11.1	9.2
減価償却費	294,785	5.6	9.2	10.3
経費	1,230,913	23.2	23.2	27.6
(うち委託料)	686,359	13.0	11.3	12.3
研究研修費	20,734			
資産減耗費	8,962			
(2) 医業外費用	204,312			
(うち支払利息)	32,905	0.6	1.6	1.7
(3) 特別損失	44,443			
損益				
経常損益	28,748			
純損益	134,813			
累積欠損金	3,914,595			
経常収支比率	100.5		98.2	96.7
医業収支比率	93.5		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	12.3		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	13.7		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	12.0		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	88.2		86.0	83.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,401,676
1 固定資産	4,095,648
(1) 有形固定資産	4,034,788
(2) 無形固定資産	7,814
(3) 投資その他の資産	53,046
2 流動資産	1,306,028
(1) 現金及び預金	516,480
(2) 未収金及び未収収益	759,902
(3) 貸倒引当金()	2,722
(4) 貯蔵品	32,368
3 繰延資産	-
負債合計	3,656,804
1 固定負債	2,703,919
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,310,584
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,188,807
(7) リース債務	204,528
2 流動負債	824,493
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	133,885
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	196,805
(6) リース債務	103,786
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	376,413
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	128,392
(1) 長期前受金	317,387
(2) 長期前受金収益化累計額()	188,995
資本合計	1,744,872
1 資本金	5,650,292
2 剰余金	-3,905,420
(1) 資本金剰余金	9,175
(2) 利益剰余金	-3,914,595
負債・資本合計	5,401,676
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	666,183	723,798
資本勘定繰入	114,832	105,229
計	781,015	829,027

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	73.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	岐阜県
	市町村・組合名	恵那市
	病院名	市立恵那病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	199	72.9	76.8	70.6
療養	-	-	-	82.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	72.9	76.8	72.0
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	13.7	14.3

設立団体の状況		
人口(人)	51,073	
決算規模(千円)	27,197,977	
標準財政規模(千円)	17,031,861	
財政力指数	0.46	
経常収支比率(%)	84.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.3
	将来負担比率(%)	-

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	30,063 m ²	指定病院の状況	救 へ 輪
診療科数	20	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.7
修正医業収支金額(千円)	7,296

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	450,880			
1 経常収益	450,880			
(1) 医業収益	187,174			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	187,174			
(うち他会計負担金)	179,878			
(2) 医業外収益	263,706			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	177,203			
(うち長期前受金戻入)	46,780			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,072,155			
2 経常費用	1,072,155			
(1) 医業費用	1,008,733			
職員給与費	16,622	8.9	56.0	61.8
材料費	-	-	24.1	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.2
減価償却費	576,203	307.8	9.2	10.4
経費	166,667	89.0	23.2	29.9
(うち委託料)	1,810	1.0	11.3	12.9
研究研修費	1,077			
資産減耗費	248,164			
(2) 医業外費用	63,422			
(うち支払利息)	33,602	18.0	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-621,275			
純損益	-621,275			
累積欠損金	613,731			
経常収支比率	42.1		98.2	96.7
医業収支比率	18.6		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	79.2		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	190.8		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	79.2		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	8.7		86.0	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,981,733
1 固定資産	9,040,698
(1) 有形固定資産	8,514,462
(2) 無形固定資産	4,589
(3) 投資その他の資産	521,647
2 流動資産	2,941,035
(1) 現金及び預金	2,583,720
(2) 未収金及び未収収益	346,402
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	5,913
3 繰延資産	-
負債合計	5,339,851
1 固定負債	3,756,265
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,697,536
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	58,729
(7) リース債務	-
2 流動負債	687,508
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	377,469
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	37,117
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	266,913
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	896,078
(1) 長期前受金	1,704,570
(2) 長期前受金収益化累計額()	808,492
資本合計	6,641,882
1 資本金	7,296,073
2 剰余金	-654,191
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-654,191
負債・資本合計	11,981,733
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	211,306	357,081
資本勘定繰入	200,978	386,894
計	412,284	743,975

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	63.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	岐阜県
				市町村・組合名	恵那市
				病院名	国民健康保険上矢作病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,238 m ²	指定病院の状況	救臨	へ	輪
診療科数	12	看護配置	10	:	1
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	56	69.6	64.8	96.1
療養	-	-	-	27.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	69.6	64.8	68.6
平均在院日数（一般病床のみ）		11.6	12.4	11.0

設立団体の状況		
人口（人）	51,073	
決算規模（千円）	27,197,977	
標準財政規模（千円）	17,031,861	
財政力指数	0.46	
経常収支比率（%）	84.3	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	4.3
	将来負担比率（%）	-

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	980,223			
1 経常収益	980,223			
(1) 医業収益	858,403			
入院収益	448,902			
外来収益	289,914			
診療収入計	738,816			
その他医業収益	119,587			
(うち他会計負担金)	79,525			
(2) 医業外収益	121,820			
(うち国・都道府県補助金)	446			
(うち他会計補助・負担金)	115,334			
(うち長期前受金戻入)	2,771			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	957,125			
2 経常費用	957,125			
(1) 医業費用	929,227			
職員給与費	610,769	71.2	56.0	71.8
材料費	165,710	19.3	24.1	16.5
(うち薬品費)	139,181	16.2	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,454	3.0	11.1	5.6
減価償却費	35,474	4.1	9.2	12.2
経費	114,210	13.3	23.2	31.2
(うち委託料)	70,235	8.2	11.3	12.3
研究研修費	1,211			
資産減耗費	1,853			
(2) 医業外費用	27,898			
(うち支払利息)	1,632	0.2	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	23,098			
純損益	23,098			
累積欠損金	50,960			
経常収支比率	102.4		98.2	97.1
医業収支比率	92.4		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	19.9		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	22.7		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	19.9		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	82.1		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	11,981,733
1 固定資産	9,040,698
(1) 有形固定資産	8,514,462
(2) 無形固定資産	4,589
(3) 投資その他の資産	521,647
2 流動資産	2,941,035
(1) 現金及び預金	2,583,720
(2) 未収金及び未収収益	346,402
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	5,913
3 繰延資産	-
負債合計	5,339,851
1 固定負債	3,756,265
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,697,536
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	58,729
(7) リース債務	-
2 流動負債	687,508
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	377,469
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	37,117
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	266,913
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	896,078
(1) 長期前受金	1,704,570
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	808,492
資本合計	6,641,882
1 資本金	7,296,073
2 剰余金	-654,191
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-654,191
負債・資本合計	11,981,733
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	83.8
修正医業収支金額（千円）	778,878

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	189,859	194,859
資本勘定繰入	10,932	10,932
計	200,791	205,791

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	63.6
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	岐阜県
				市町村・組合名	土岐市
				病院名	土岐市立総合病院・駄知診療所
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,807 m ²	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	23	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	350	41.3	49.9	54.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	350	41.3	49.9	54.8
平均在院日数（一般病床のみ）		18.0	17.6	17.2

設立団体の状況		
人口（人）	57,827	
決算規模（千円）	24,405,930	
標準財政規模（千円）	12,658,693	
財政力指数	0.68	
経常収支比率（%）	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	5.1
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	79.9
修正医業収支金額（千円）	3,768,429

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,922,914			
1 経常収益	4,922,914			
(1) 医業収益	4,091,202			
入院収益	2,426,908			
外来収益	1,207,635			
診療収入計	3,634,543			
その他医業収益	456,659			
(うち他会計負担金)	322,773			
(2) 医業外収益	831,712			
(うち国・都道府県補助金)	5,539			
(うち他会計補助・負担金)	352,156			
(うち長期前受金戻入)	16,544			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,411,492			
2 経常費用	5,411,492			
(1) 医業費用	4,716,661			
職員給与費	2,539,711	62.1	56.0	57.1
材料費	751,663	18.4	24.1	23.9
(うち薬品費)	392,023	9.6	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	357,446	8.7	11.1	11.4
減価償却費	434,177	10.6	9.2	9.5
経費	975,178	23.8	23.2	22.0
(うち委託料)	564,818	13.8	11.3	10.8
研究研修費	13,488			
資産減耗費	2,444			
(2) 医業外費用	694,831			
(うち支払利息)	37,795	0.9	1.6	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-488,578			
純損益	-488,578			
累積欠損金	4,841,637			
経常収支比率	91.0		98.2	96.7
医業収支比率	86.7		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	13.7		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	16.5		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	13.7		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	78.5		86.0	85.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	7,190,188
1 固定資産	6,112,467
(1) 有形固定資産	5,899,646
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	212,821
2 流動資産	1,077,721
(1) 現金及び預金	349,570
(2) 未収金及び未収収益	701,693
(3) 貸倒引当金（ ）	23,201
(4) 貯蔵品	49,608
3 繰延資産	-
負債合計	2,877,533
1 固定負債	1,754,803
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,739,803
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	904,002
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	403,866
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	149,788
(6) リース債務	2,226
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	311,777
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	218,728
(1) 長期前受金	497,769
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	279,041
資本合計	4,312,655
1 資本金	8,729,572
2 剰余金	-4,416,917
(1) 資本剰余金	424,720
(2) 利益剰余金	-4,841,637
負債・資本合計	7,190,188
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	618,770	674,929
資本勘定繰入	187,698	229,643
計	806,468	904,572

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	118.3
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	岐阜県
				市町村・組合名	飛騨市
				病院名	国民健康保険飛騨市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,237 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	15	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	58	77.7	73.7	75.3
療養	33	74.1	72.8	74.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	91	76.4	73.4	74.9
平均在院日数（一般病床のみ）		15.4	17.3	17.4

設立団体の状況		
人口（人）	24,696	
決算規模（千円）	18,340,071	
標準財政規模（千円）	10,917,475	
財政力指数	0.31	
経常収支比率（%）	92.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	13.8
	将来負担比率（%）	-

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,710,730			
1 経常収益	1,710,230			
(1) 医業収益	1,224,973			
入院収益	702,415			
外来収益	412,484			
診療収入計	1,114,899			
その他医業収益	110,074			
(うち他会計負担金)	27,657			
(2) 医業外収益	485,257			
(うち国・都道府県補助金)	1,000			
(うち他会計補助・負担金)	138,536			
(うち長期前受金戻入)	43,800			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	500			
(うち他会計繰入金)	500			
総費用	1,787,328			
2 経常費用	1,787,328			
(1) 医業費用	1,416,010			
職員給与費	819,275	66.9	56.0	71.8
材料費	145,997	11.9	24.1	16.5
(うち薬品費)	59,216	4.8	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	84,686	6.9	11.1	5.6
減価償却費	134,364	11.0	9.2	12.2
経費	310,639	25.4	23.2	31.2
(うち委託料)	131,363	10.7	11.3	12.3
研究研修費	3,173			
資産減耗費	2,562			
(2) 医業外費用	371,318			
(うち支払利息)	8,593	0.7	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-77,098			
純損益	-76,598			
累積欠損金	844,852			
経常収支比率	95.7		98.2	97.1
医業収支比率	86.5		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	9.7		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	13.6		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	9.7		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	86.4		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	3,357,006
1 固定資産	1,663,493
(1) 有形固定資産	1,663,493
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,693,513
(1) 現金及び預金	1,248,433
(2) 未収金及び未収収益	428,456
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	11,624
3 繰延資産	-
負債合計	713,762
1 固定負債	466,851
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	466,851
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	225,681
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	71,465
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	42,275
(6) リース債務	248
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	106,693
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	21,230
(1) 長期前受金	390,107
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	368,877
資本合計	2,643,244
1 資本金	2,935,594
2 剰余金	-292,350
(1) 資本金剰余金	138,275
(2) 利益剰余金	-430,625
負債・資本合計	3,357,006
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	84.6
修正医業収支金額（千円）	1,197,316

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	310,868	166,693
資本勘定繰入	46,533	23,407
計	357,401	190,100

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	69.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)	都道府県名	岐阜県
	市町村・組合名	郡上市
	病院名	郡上市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	15,089 m ²	指定病院の状況	救臨へ
診療科数	12	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	100	88.2	85.1	83.4
療養	50	85.6	80.1	81.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	87.3	83.5	82.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	13.2	11.6

設立団体の状況		
人口(人)	42,090	
決算規模(千円)	28,349,164	
標準財政規模(千円)	17,839,036	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	89.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.7
	将来負担比率(%)	69.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.0
修正医業収支金額(千円)	2,576,142

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,827,030			
1 経常収益	2,823,381			
(1) 医業収益	2,593,297			
入院収益	1,531,257			
外来収益	883,880			
診療収入計	2,415,137			
その他医業収益	178,160			
(うち他会計負担金)	17,155			
(2) 医業外収益	230,084			
(うち国・都道府県補助金)	20,140			
(うち他会計補助・負担金)	181,174			
(うち長期前受金戻入)	21,042			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,649			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,981,021			
2 経常費用	2,967,304			
(1) 医業費用	2,799,422			
職員給与費	1,504,043	58.0	56.0	61.8
材料費	431,237	16.6	24.1	17.7
(うち薬品費)	216,991	8.4	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	187,262	7.2	11.1	8.2
減価償却費	255,341	9.8	9.2	10.4
経費	599,499	23.1	23.2	29.9
(うち委託料)	194,136	7.5	11.3	12.9
研究研修費	6,570			
資産減耗費	2,732			
(2) 医業外費用	167,882			
(うち支払利息)	92,452	3.6	1.6	1.7
(3) 特別損失	13,717			
損益				
経常損益	-143,923			
純損益	-153,991			
累積欠損金	1,023,685			
経常収支比率	95.1		98.2	96.7
医業収支比率	92.6		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	7.6		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	7.0		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	88.5		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,361,023
1 固定資産	6,593,581
(1) 有形固定資産	6,589,998
(2) 無形固定資産	2,841
(3) 投資その他の資産	742
2 流動資産	767,442
(1) 現金及び預金	161,006
(2) 未収金及び未収収益	590,959
(3) 貸倒引当金()	20,223
(4) 貯蔵品	35,652
3 繰延資産	-
負債合計	6,145,988
1 固定負債	4,974,361
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,974,361
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	931,984
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	432,964
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	160,053
(6) リース債務	3,830
(7) 一時借入金	101,751
(8) 未払金及び未払費用	231,872
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	239,643
(1) 長期前受金	645,318
(2) 長期前受金収益化累計額()	405,675
資本合計	1,215,035
1 資本金	3,188,262
2 剰余金	-1,973,227
(1) 資本金剰余金	22,893
(2) 利益剰余金	-1,996,120
負債・資本合計	7,361,023
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	207,890	198,329
資本勘定繰入	184,418	132,965
計	392,308	331,294

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	岐阜県
				市町村・組合名	郡上市
				病院名	県北西部地域医療センター 国保白鳥病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,393 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	11	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	60	61.8	67.0	69.3
療養	-	-	-	-
結核	4	3.8	8.5	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	64	58.1	63.4	64.9
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	15.7	15.4

設立団体の状況		
人口(人)	42,090	
決算規模(千円)	28,349,164	
標準財政規模(千円)	17,839,036	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	89.0	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.7
	将来負担比率(%)	69.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.9
修正医業収支金額(千円)	972,470

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,185,227			
1 経常収益	1,183,044			
(1) 医業収益	984,279			
入院収益	415,463			
外来収益	437,276			
診療収入計	852,739			
その他医業収益	131,540			
(うち他会計負担金)	11,809			
(2) 医業外収益	198,765			
(うち国・都道府県補助金)	15,976			
(うち他会計補助・負担金)	160,644			
(うち長期前受金戻入)	17,489			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,183			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,230,824			
2 経常費用	1,226,539			
(1) 医業費用	1,187,007			
職員給与費	787,833	80.0	56.0	71.8
材料費	104,846	10.7	24.1	16.5
(うち薬品費)	48,449	4.9	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	46,530	4.7	11.1	5.6
減価償却費	73,140	7.4	9.2	12.2
経費	216,899	22.0	23.2	31.2
(うち委託料)	74,592	7.6	11.3	12.3
研究研修費	2,971			
資産減耗費	1,318			
(2) 医業外費用	39,532			
(うち支払利息)	21,662	2.2	1.6	1.9
(3) 特別損失	4,285			
損益				
経常損益	-43,495			
純損益	-45,597			
累積欠損金	972,435			
経常収支比率	96.5		98.2	97.1
医業収支比率	82.9		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	14.6		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	17.5		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	14.6		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	82.4		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,361,023
1 固定資産	6,593,581
(1) 有形固定資産	6,589,998
(2) 無形固定資産	2,841
(3) 投資その他の資産	742
2 流動資産	767,442
(1) 現金及び預金	161,006
(2) 未収金及び未収収益	590,959
(3) 貸倒引当金()	20,223
(4) 貯蔵品	35,652
3 繰延資産	-
負債合計	6,145,988
1 固定負債	4,974,361
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,974,361
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	931,984
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	432,964
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	160,053
(6) リース債務	3,830
(7) 一時借入金	101,751
(8) 未払金及び未払費用	231,872
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	239,643
(1) 長期前受金	645,318
(2) 長期前受金収益化累計額()	405,675
資本合計	1,215,035
1 資本金	3,188,262
2 剰余金	-1,973,227
(1) 資本金剰余金	22,893
(2) 利益剰余金	-1,996,120
負債・資本合計	7,361,023
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	171,631	172,453
資本勘定繰入	70,378	68,071
計	242,009	240,524

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	岐阜県
				市町村・組合名	下呂市
				病院名	下呂市立金山病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,954 m ²	指定病院の状況	救へ輪		
診療科数	11	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	50	73.9	75.9	81.8
療養	49	56.3	69.4	74.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	65.2	72.7	78.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.8	15.2	15.2

設立団体の状況		
人口(人)	33,585	
決算規模(千円)	24,046,511	
標準財政規模(千円)	13,448,809	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	86.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.1
	将来負担比率(%)	11.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.3
修正医業収支金額(千円)	1,115,599

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,436,297			
1 経常収益	1,427,764			
(1) 医業収益	1,151,893			
入院収益	611,809			
外来収益	436,557			
診療収入計	1,048,366			
その他医業収益	103,527			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	275,871			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	221,442			
(うち長期前受金戻入)	46,509			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,533			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,482,491			
2 経常費用	1,482,491			
(1) 医業費用	1,424,812			
職員給与費	824,379	71.6	56.0	71.8
材料費	182,263	15.8	24.1	16.5
(うち薬品費)	89,314	7.8	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	90,256	7.8	11.1	5.6
減価償却費	109,684	9.5	9.2	12.2
経費	298,654	25.9	23.2	31.2
(うち委託料)	146,907	12.8	11.3	12.3
研究研修費	4,031			
資産減耗費	5,801			
(2) 医業外費用	57,679			
(うち支払利息)	18,028	1.6	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-54,727			
純損益	-46,194			
累積欠損金	1,240,653			
経常収支比率	96.3		98.2	97.1
医業収支比率	80.8		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	18.1		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	22.4		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	17.9		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	78.9		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,183,576
1 固定資産	1,939,883
(1) 有形固定資産	1,862,277
(2) 無形固定資産	5,285
(3) 投資その他の資産	72,321
2 流動資産	243,693
(1) 現金及び預金	63,084
(2) 未収金及び未収収益	174,193
(3) 貸倒引当金()	138
(4) 貯蔵品	6,554
3 繰延資産	-
負債合計	2,118,074
1 固定負債	1,384,602
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,384,602
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	239,379
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	80,214
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	46,532
(6) リース債務	46
(7) 一時借入金	50,000
(8) 未払金及び未払費用	54,480
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	494,093
(1) 長期前受金	792,945
(2) 長期前受金収益化累計額()	298,852
資本合計	65,502
1 資本金	1,262,569
2 剰余金	-1,197,067
(1) 資本金剰余金	26,366
(2) 利益剰余金	-1,223,433
負債・資本合計	2,183,576
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	351,200	257,736
資本勘定繰入	38,300	38,300
計	389,500	296,036

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	107.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	岐阜県
	市町村・組合名	関ヶ原町
	病院名	国保関ヶ原病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	64.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	64.4
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	21.8

設立団体の状況		
人口(人)	7,419	
決算規模(千円)	3,782,618	
標準財政規模(千円)	2,776,261	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	86.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	39.0

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,234			
1 経常収益	17,234			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	17,234			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,234			
2 経常費用	17,234			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	71.8
材料費	-	-	24.1	16.5
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.6
減価償却費	-	-	9.2	12.2
経費	-	-	23.2	31.2
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	17,234			
(うち支払利息)	17,234	-	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	97.1
医業収支比率	-		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	8,675	-
資本勘定繰入	57,359	-
計	66,034	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	岐阜県
		市町村・組合名	東白川村
		病院名	国保病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,261	
決算規模(千円)	2,725,199	
標準財政規模(千円)	1,482,771	
財政力指数	0.15	
経常収支比率(%)	91.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	41.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	212			
1 経常収益	212			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	212			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	212			
2 経常費用	212			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	81.3
材料費	-	-	24.1	14.4
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.1
減価償却費	-	-	9.2	13.4
経費	-	-	23.2	47.5
(うち委託料)	-	-	11.3	20.0
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	212			
(うち支払利息)	212	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	85,197			
経常収支比率	100.0		98.2	96.3
医業収支比率	-		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	64.8

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	141	-
資本勘定繰入	382	-
計	523	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。